

PX1を使ったマニュアル活線識別

- ①対象の光ファイバを指で曲げて、FOAS-01（有償・オプション）に入れ込みます。
- ②FOAS-01をPX1のパワーメータ読み込み口にそのまま取付します。
- ③出力の読み込みがあれば、活線トラフィックが存在することになり、活線の光ファイバを探知したことになります。
- ④パワーメータのトーン検知で光ファイバの追跡が可能です。

